

養成医かわら版

NEWSLETTER



自己紹介

名前：高田 京加

勤務先：公立豊岡病院

診療科：救急集中治療科

卒後：8年目

経歴：

2018年 自治医科大学卒業

2018-2019年 兵庫県立淡路医療センター 初期研修

2020年 日高医療センター内科 前期派遣

2021年 公立豊岡病院総合診療科 前期派遣

2022年 出石医療センター総合診療科 前期派遣

2023年 兵庫県立丹波医療センター総合診療科 後期研修

2024年 公立豊岡病院救急集中治療科 後期研修

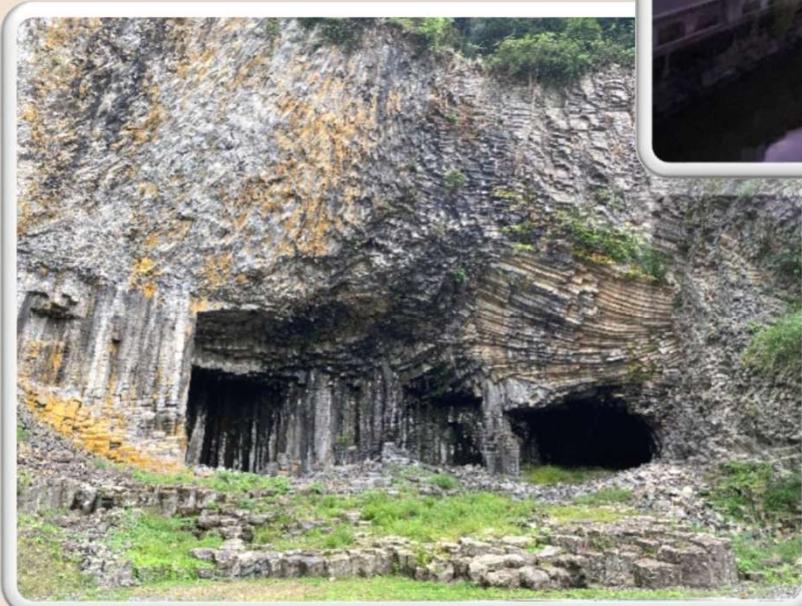
総合診療専門医取得、救急専門医研修開始(ダブルボード)

2025年 公立豊岡病院救急集中治療科 後期派遣

【地域の紹介：但馬地方】

兵庫県の北部を占める但馬地方は、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町の3市2町で構成され、日本海に面し、山々が連なる豊かな自然が特徴です。兵庫県の約4分の1の面積を占め、北は日本海、南は播磨・丹波地域、東は京都府、西は鳥取県に隣接しています。約70%が山地で、氷ノ山をはじめとする1000m級の山々が連なります。観光では、城崎温泉や湯村温泉、「天空の城」と呼ばれる竹田城跡、生野銀山、玄武洞などが有名です。トレッキング、スキー、海水浴なども楽しめるため、一年を通して観光客が多く訪れます。但馬牛、松葉ガニ、出石そば、豊岡カバン、出石焼などが特産です。

現在は豊岡病院のすぐそばまで高速道路が伸びているので、神戸市や大阪市までは2時間前後で行くことができます。



【総合診療科から救急集中治療科へ】

自分の目の前に、どんな症状や状況の患者さんが来られても手を差し伸べられる医師になりたいと思い、総合診療科を選択しました。前期派遣から後期研修1年目までの4年間、総合診療科として4つの病院で勤務しました。日高医療センター(現在の日高クリニック)や出石医療センターでは、訪問診療や施設診療、入院患者の在宅にむけた調整、終末期医療、コロナ禍の感染対策、多職種連携、人工透析などを学びました。豊岡病院や丹波医療センターの総合診療科では、診療科がそれほど多くない地域中核病院の総合診療科として、非常に幅広い疾患の初診や入院治療に関わりました。専門科が多い大病院では通常経験できないような疾患の診断・治療を学ぶことができました。

こうした4年間を過ごした後、自分の理想とする医師像にあとなにが不足しているか考えたとき、それは圧倒的に救急対応能力でした。今後総合診療科医として働いていくにしても、目の前で患者が急変したときに、適切に対応できる自信がありませんでした。そこで後期研修2年目の研修先として公立豊岡病院但馬救命救急センターを希望しました。

但馬救命救急センターは、但馬地域における唯一の三次救急・救命救急センターとして、地域を支えています。またドクターヘリ・ドクターカーの基地病院として、病院前からの医師介入による迅速な治療開始を実現し、地域の救急医療過疎解消、救命率向上、後遺症軽減に貢献しています。病院前診療から救急外来、手術・集中治療、一般病棟治療、外来フォローまで、シームレスにつなぐ体制を構築しています。



私は総合診療専門医を取得し、ダブルボード制度で救急専門医研修を開始しました。まず救急外来業務や、集中治療患者を主治医として受け持つことから始まり、メディカルコントロール、プレホスピタル研修・試験を経てドクターヘリ・ドクターカー業務、ICU当番など、徐々にできることや任せていただけの仕事が増えていく過程は、非常に充実しています。将来どんな診療科でどんな規模の病院で働くとしても、目の前で急変は起こり得ます。その時に迅速かつ適切に、必要な初期対応や処置ができる医師になるべく、研修を続けていきます。

